

## 「地域資源を活用した安価な鶏用飼料を目指して」

酒粕は、水分量が高く、乾燥コストがかかるため、鶏用飼料としての利用はほとんどありませんでした。しかし、高タンパク質であることから、価格が高騰する大豆粕の代替として有望であり、当センターにおいて、竹粉や飼料用米等と混ぜ合わせることで、乾燥工程を省略した安価な飼料配合方法を開発しました。

京地どり及び採卵鶏への給与試験で生産性に問題なく、生産コストが低減されたので、今後は、府内酒造メーカーと養鶏農家のマッチングやその他の未利用資源との併用によるさらなる低コスト化の実現等、現場への普及を進めていきます。



酒粕が配合された飼料を食べる京地どりと採卵鶏